令和５年度　第３回埼玉県特別支援教育研究会　理事研究協議会　次第

令和５年１２月１日（金）　１５：００～１６：３０
埼玉大学教育学部附属特別支援学校
埼玉大学教育学部附属特別支援教育臨床研究センター

１　会長あいさつ　　会長

２　協議事項

（１）令和５年度埼玉県特別支援教育研究会 本部事業報告　　資料①
・全難言・全情研全国大会　埼玉大会について　　資料②
・狭山大会 WEB 配信について　　資料③
・埼特研　冬の研修セミナーについて　　資料④

（２）令和６年度埼玉県特別支援教育研究会 本部事業計画（案）（事務局）　資料⑤
（来年度以降の事業の進め方について）　⑤
・第６３回埼玉県特別支援教育研究協議会　川口大会について　資料⑥
・今後の研究協議会分科会について　資料⑦

（３）埼特研理事について　資料⑧

３　連絡事項
（１）全国大会・関ブロ大会報告
令和５年度第 62 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会　報告（徳島大会）
令和５年度第 57 回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会 報告（栃木大会）

（２）令和５年度埼特研理事の報告について（事務局）　資料⑩
（５）文書配布について（事務局）
・冬の研究セミナーのお知らせ

理事会・第２部【特別講演】

「今後の埼玉県の特別支援教育の方向性について」
講師：教育局市町村支援部義務教育指導課　学びの支援担当　　山﨑　慎也様

令和５年度　事業報告

1　研究活動方針

令和の新たな時代を迎え、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、なお一層その重要性が増してきている。

平成の時代より、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。

本研究会では、特別支援学級における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒への指導・支援などの課題を明らかにし、その解決方策について、研究協議を行ってきている。さらに、幼小中高特全ての学びの場において、全ての教職員が特別支援教育を理解し、実践できるように寄与したい。

これらのことを踏まえ、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、幼児児童生徒が志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導･支援を推進する必要がある。

本研究会は、これらの特別支援教育推進に係る諸課題解決に向け、学校及び教職員が抱える今日的課題を踏まえて研究を推進する。そして、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を目指して、全国大会の成果を活かし、教職員の指導力の向上と本県特別支援教育の振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて　～全特連埼玉大会の成果のまとめ～

○幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。

○発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。

○全特連埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

2　事業計画

（1）　令和５年度（2023）総会

令和５年６月１６日(金)　オンライン

埼玉大学教育学部附属特別支援学校

（2）第 52 回 全国公立学校難聴・言語障害教育研究協議会 全国大会　第 55 回 全国情緒障害教育研究協議会 全国大会　埼玉大会

日時 令和５年７月 27 日（木）28 日（金）

場所 ソニックシティ

内容　全体会 記念講演 分科会

（3）第 63 回埼玉県特別支援教育研究協議会

内容　知的部門 web 発表　狭山市主催

令和６年１～２月

（4）~~第 51 回埼玉県特別支援教育研究発表大会~~

冬の研究セミナー　オンライン開催

日時 令和５年１２月２７日（水）

（5）提案者等推薦

第 57 回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会栃木大会（8/4：対面開催）

第４分科会「各教科等を合わせた指導」

提案者 吉川市立美南小学校 伊村唯 教諭

司会者 幸手市立西中学校　島田浩　教諭

（6）研究委嘱

年度	学校名	研究主題
4・5年度	新座市立第三中学校	生徒の言語理解を支えるＩＣＴを活用した支援方法の研究
	吉川市立美南小学校	自立と社会参加を目指した授業づくり

（7）後援事業

・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会

令和６年２月１０日(土) オンライン

・埼玉純真短期大学 研究セミナー

令和５年１１月１１日（土）対面開催

（8）研究部活動

・難聴・言語障害教育研究部会

・発達障害・情緒障害教育研究部会

・特別支援学校部会

（9）会報の発行　・第 56 集（令和６年３月発行）

(10) 理事・役員研究協議会

第１回役員研究協議会　令和５年 5月 11 日(木) 対面開催

第１回理事研究協議会　令和５年 6月１６日(金) オンライン

第２回理事役員研究協議会 令和５年 7月 6日(木) 役員対面 理事オンライン

第３回理事役員研究協議会 令和５年 12 月１日(金) 役員対面 理事オンライン

(11) その他の事業

・地域･地区特別支援教育研究会への支援

第52回全難言協全国大会・第55回全情研全国大会 埼玉大会《報告》

大会事務局

（1） 大会主題　『彩（いろどり）～豊かな学びと共生社会の実現を目指して～』

副題　難言「ことばを育て、こころを育み、自己肯定感を高めるために、今できること。」

情緒「つながる、つなげる、社会の中で自己有用感を高めるために、今できること。」

（2） 開催日・場所

7月27日（木）～7月28日（金）・ソニックシティ（さいたま市大宮区）

※7月31日～8月31日・オンデマンド動画配信（Vimeo）

（3） 日程

	8:00	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30
7/27（木）	準備	ブロック代表者会議	全難言協 全国理事会						受付	全難言協 総会	開会行事		記念講演		休憩	基調講演	諸連絡
			全情研 全国理事会														
7/28（金）	準備	分科会打合せ	受付	分科会（実践発表・質疑応答 等）					昼食・休憩			分科会のまとめ（指導助言・協議・講義 等）				閉会行事	

（4） 参加者数

607名（講演者・提案者・コーディネーター・来賓除く）

※オンデマンド動画配信のみ参加者数　259名

（5） 記念講演

演題：『共生社会におけるコミュニケーションのあり方ー発達障害からの示唆ー』

講師：本田 秀夫 氏（信州大学医学部子どものこころの発達医学教室 教授）

（6） 基調講演

演題：『通常の学級に在籍する障害のある児童生徒への支援の在り方について』

講師：堀之内 恵司 氏（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官）

(7)　分科会　　（敬称略）

No.	名称	提案者	コーディネーター	参加者数
1	「聴覚障害」に関する指導・支援	須藤 沙弥香（神奈川県立茅ケ崎支援学校） 三橋 聡子（神奈川県立平塚ろう学校） 長谷川ちか子（神奈川県立平塚ろう学校） 奥沢 忍（茨城県つくば市立竹園東小学校）	澤 隆史（東京学芸大学）	59名
2	「構音障害」に関する指導・支援	春山 咲希子（宮崎県都城市立明道小学校） 東 あやの（草加市立八幡北小学校）	西田 立郎（言語聴覚士）	61名
3	「吃音」に関する指導・支援	安田 恵美（千葉県千葉市立山王小学校） 森崎 渉（川越市立川越小学校）	小林 宏明（金沢大学）	91名
4	「言語発達・読み書き」に関する指導・支援	末永 絢音（東京都練馬区立南町小学校） 戸邉 みな子（深谷市立上柴中学校） 横田 惇（深谷市立深谷中学校）	海津 亜希子（明治学院大学）	91名
5	「ICT 活用」の指導実践	田渕 恵美子（茨城県守谷市立守谷小学校） 金子 洋子（久喜市立鷲宮小学校） 植草 葉月（東京都国立市立国立第二小学校）	坂本 條樹（渋谷区教育委員会・共立女子大学）	82名
6	「自閉症・情緒障害」に関する指導・支援	大桃 友加里（千葉県いすみ市立東海小学校） 園田 力斗（入間市立狭山小学校）	霜田 浩信（群馬大学）	62名
7	「進路・キャリア教育」に関する指導・支援	高松 慶多（東京都三鷹市立第二中学校） 相川 賢樹（県立特別支援学校さいたま桜高等学園）	名越 斉子（埼玉大学）	52名
8	「幼保～就労までの連携」（発達情緒）	石本 直巳（県立けやき特別支援学校伊奈分校） 野崎 陽弘（発達障害者支援センター「まほろば」）	大石 幸二（立教大学） 遠藤 愛（文教大学）	58名
9	「ことばの教室経営と他機関との連携」（難聴言語）	福田 桂子（さいたま市立大宮南小学校） 福田 恵美子（さいたま市立大宮南中学校） 清水 加奈子（埼玉県立小児医療センター） 岡田 岳歩（児童発達支援事業所放課後等デイサービス エント）	滑川 典宏（特総研） 木場 由紀子（言語聴覚士）	51名

埼玉県特別支援教育研究会
第62回研究協議会 狭山大会 （HP案）

1　研究主題　「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた「個別最適化・協働的な学び」を求めて」

2　趣　　旨　標記の研究主題を掲げ、県内各小・中・高等学校及び幼稚園（保育所）の先生方が教育実践を持ち寄り、研究協議・情報交換を通じて、特別な教育的支援の必要な幼児児童生徒に必要な指導・支援の在り方を模索するとともに、今後の県内の特別支援教育の一層の充実を図ろうとするものである。

3　参 加 者　小・中・高等学校職員、幼稚園・保育所職員、特別支援学校職員、教育委員会特別支援教育担当者・指導主事、特別支援教育に関心のある方々　等

4　期　　間　令和6年2月14日（水）～
公開

5　発表について　全国大会発表を除いた7分科会の配信を行っております。

6　閲覧上の注意
・掲載資料の無断転載、引用等は禁止します。

分科会		指導者	提案
1	各教科等を合わせた指導 生活単元学習	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	① 活動報告　特別支援学校生活単元学習部会 ② 実践提案　寄居町立桜沢小学校　木村彩乃教諭 「一人一人が主体的に活動できる授業づくり ～生活単元学習における個別最適な学びと協働的な学びの視点から～」
2	各教科等を合わせた指導 作業学習	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	① 活動報告　特別支援学校作業学習部会 ② 実践提案　さいたま市立岸中学校　馬目喜芳教諭 「自立に向けた、自信を身に付けるための作業学習 ～心と心の通い合う、人とつながり合う活動～」
3	自立活動	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	① 活動報告　特別支援学校自立活動部会 ② 実践提案　東三郷市立早稲田小学校　比嘉亮太教諭 「みんなで遊ぼう！～遊びのルールや仲良く遊ぶための約束を考えよう～」
4	教科別の指導 音楽	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	① 活動報告　特別支援学校音楽部会 ② 実践提案　狭山市立山王小学校　丸泉早苗教諭 「楽しさから達成感につなげる音楽の学習を目指して ～担任と音楽専科の効果的な連携について～」

5	教科別の指導 算数・数学	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	① 活動報告　特別支援学校算数数学部会 ② 実践提案　草加市立新田小　大久保直子教諭 「児童一人一人が自ら進んで学ぶ授業づくりの工夫」 ～個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指して～
8	特別支援教育の授業づくり	①大学教授 ②埼大附属副校長	① 実践提案　秩父市立秩父第一小学校　新井久美子教諭 「子どもたちの特性にあわせた授業づくりのくふう」 ② 実践提案　さいたま市立大成小学校　佐俣リカ子教諭 「ボディイメージ獲得のための様々な授業を通した取組」
9	特設テーマ （例：キャリア教育、コーディネーター、通常における、ICT、自閉症）	①大学教授	提案 開催地区で選出 ☆狭山市より提案あり

○進捗状況

ＨＰ上発表	２月（上記）
ＱＲコード付き発表文書の配布	１月
提案者・指導者原稿確認	１月末日
指導者原稿	１２月末日
提案者原稿	１１月末日
提案者報告	７月中　○
原稿分担・依頼	令和４年度中　○

埼玉県特別支援教育研究会　冬の研究セミナー

子どもたちの長所や強みを引き出すためのICT活用

今、子どもたちのもっている良さやポテンシャルを引き出すために、ICTをどう活用するかが私たちに問われています。そのためにどんな授業のアイデアを考えればよいか、どうICTを活用すればよいか、ぜひ一緒に考えていきましょう。

参加費 **無料**

オンライン開催

日時	令和５年12月27日(水) 10:00～11:30
場所	オンライン Zoom（URLは申し込み者にメールにて送付します。）
対象	小・中・高等学校職員、特別支援学校職員、教育委員会特別支援教育担当者・指導主事、特別支援教育に関心のある方々　等
定員	１００名（先着）
申込方法	専用フォームからお申し込みください https://forms.gle/tXKCkUJHHLiBy3GN7
締切	令和５年１２月１３日(水)

講師　**海老沢　穣** 氏

一般社団法人 SOZO.Perspective　代表理事

教育ICTコンサルタント、新渡戸文化学園NITOBE FUTURE PARTNER、東京都立特別支援学校外部専門家。前東京都立石神井特別支援学校指導教諭。iPadの授業での活用を中心に、ICTを活用した新たな授業デザインの提案と実践を行なっている。2017年にAppleのテクノロジーを活用した教育分野のイノベーターであるApple Distinguished Educatorに認定された。東京都教育委員会2019年度職員表彰受賞。NPO法人芸術家と子どもたちアドバイザー、NHK for School番組委員、杉並区立桃井第三小学校学校運営協議会委員。

【お問い合わせ】
埼玉県特別支援教育研究会
（埼玉大学教育学部附属特別支援学校内）
TEL: 048-663-6803
Mail:daigo222@mail.Saitama-u.ac.jp（担当：仙石）

令和６年度　事業計画（案）

1　研究活動方針

令和の新たな時代を迎え、特別支援教育の推進は、特別支援学級・通級指導教室・特別支援学校ではもちろんのこと、幼稚園、小・中学校、高等学校の全ての学校において、なお一層その重要性が増してきている。

平成の時代より、障害者の権利に関する条約が批准されるとともに、障害者差別解消法が施行され、共生社会の実現に向け、インクルーシブ教育システム構築の動きが加速している。各学校においては必要な幼児児童生徒に合理的配慮の提供が求められ、ユニバーサルデザインを取り入れた授業改善の取組が進められている。

本研究会では、特別支援学級における教育課程や学級経営の在り方をはじめ、通常の学級に在籍する特別な支援の必要な幼児児童生徒への指導・支援などの課題を明らかにし、その解決方策について、研究協議を行ってきている。さらに、幼小中高特全ての学びの場において、全ての教職員が特別支援教育を理解し、実践できるように寄与したい。

これらのことを踏まえ、私たちはより高い専門性を身に付けるとともに、幼児児童生徒が志をもち夢と自信に満ちて社会で活躍できるよう、自立に向けた指導･支援を推進する必要がある。

本研究会は、これらの特別支援教育推進に係る諸課題解決に向け、学校及び教職員が抱える今日的課題を踏まえて研究を推進する。そして、幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育の一層の充実を目指して、全国大会の成果を活かし、教職員の指導力の向上と本県特別支援教育の振興に寄与する。

幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを踏まえ、自立と社会参加につながる指導・支援の充実を求めて　～全特連埼玉大会の成果のまとめ～

○幼児児童生徒一人一人の障害の状態及び発達段階や特性等に応じた効果的な指導の在り方を追究する。

○発達障害のある幼児児童生徒をはじめ、学習や生活に特別な支援を必要とする子に対する指導の在り方を追究する。

○全特連埼玉大会の成果等を踏まえ、新しい時代の特別支援教育の諸課題に応じた教育について研究し、本県特別支援教育の実践を進展させる。

2　事業計画

（1）　令和６年度（2024）総会
令和６年６月７日(金)
埼玉大学教育学部附属特別支援学校

（2）　第64回埼玉県特別支援教育研究協議会
日時　令和４年８月初旬
場所　川口市内学校（ホスト）
開催方法　オンライン開催
全体会：オンライン配信、一部集合
分科会：８分科会、オンライン協議

（3）冬の研究セミナー
日時 令和６年１２月２７日(金)

（4）提案者等推薦
第58回関東甲信越地区特別支援教育研究協議会千葉大会（８/　　：対面開催予定）
第５分科会「各教科等を合わせた指導」
提案者　　教諭
司会者　　教諭

（5）　後援事業
・埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会
令和６年　　月　　日(土)
・埼玉純真短期大学 研究セミナー（未定）

（7）研究部活動
・難聴・言語障害教育研究部会
・発達障害・情緒障害教育研究部会
・特別支援学校部会

（8）会報の発行　・第57集（令和７年３月発行）

（9）理事・役員研究協議会
第１回役員研究協議会　　令和６年　５月10日(金)
第１回理事研究協議会　　令和６年　６月７日(金)
第２回理事役員研究協議会　令和６年　７月　５日(金)
第３回理事役員研究協議会　令和６年11月29日(金)

(10) その他の事業
・地域･地区特別支援教育研究会への支援

別紙資料/役員会のみ

令和６年度　埼特研本部関係事業の予定日時（案）

日　時	事　業　名	参加対象
5／10(金)　14：00～16：30	第１回役員研究協議会	役員候補のみ
6／7(金)　13：30～16：30	令和６年度総会 （第１回理事研究協議会）	来賓 役員・理事・実行委員
6月	庚寅会6月例会	庚寅会会員・埼特研役員
7／5（金）　13：30～14：30	第２回役員研究協議会	役員
7／5（金）　15：00～16：30	第２回理事研究協議会	役員・理事
8／	第 64 回埼玉県特別支援教育研究協議会　川口大会	役員・理事 県内全域の教育関係者
8／　(金)　開会行事 記念講演	第58回全日本特別支援教育研究連盟 関東甲信越地区特別支援教育研究協議会　千葉大会	
11／　(金)　全体会	第62回全日本特別支援教育研究連盟全国大会	
未定	後援事業　純真短期大学セミナー	
11／29（金）　13：30～14：30	第３回役員研究協議会	役員
11／29（金）　15：00～16：30	第３回理事研究協議会	役員・理事・実行委員
12月	庚寅会12月例会	庚寅会会員・埼特研役員
12／27（金）　10：00～11：30	**冬の研究セミナー**	役員・理事 埼特研会員
2／　(土)	後援事業　埼玉大学教育学部附属特別支援学校研究協議会	
2月下旬	埼玉県特別支援教育研究会会計監査	会計監事・会長・会計担当・事務局
3月上旬	埼玉県連合教育研究会会計監査	会計担当

令和5年12月1日

令和6年度の埼玉県特別支援教育研究会の活動について（案）

埼玉県特別支援教育研究会 事務局

日頃より、埼玉県特別支援教育研究会の活動へのご理解ご協力いただきありがとうございます。
さて、新型コロナウイルス感染症に関する状況や昨今の会をめぐる状況に対応するために、埼玉県特別支援教育研究会事務局として、事業に関して方向性を提案いたします。

1　令和6年度埼玉県特別支援教育研究会事業について

（1）役員研究協議会の開催について
　〇対面実施を基本としつつ、オンラインも併用する。
　　これまで通り、様々な案件を検討するため
（2）理事研究協議会の開催について
　〇オンライン開催を基本とする。（R3より継続）
　　コロナ禍の取り組みを活かし、オンラインでより参加しやすく、研修しやすく

（2）総会開催について
　〇同様に役員対面、理事オンラインで実施する。
　〇オンライン参加者へは、HP 等で情報の共有
　　総会の議案の承認については、事前委任および zoom 投票とする。

（4）第63回研究協議会（川口大会）について
　第64回研究協議会（さいたま大会）について

（6）研究発表大会について
　　（令和3年度は、実施を中止、4年度はオンライン開催2名、5年度は応募無し）
　→今後は、冬の研究セミナーとして、時代のニーズに即した講演をオンラインで可能な
　　範囲で計画していく形でどうか？

2 研究委嘱校について
　〇令和5年度以降は行わない方向で確認

3 後援事業について
（1）埼玉大学教育学部附属特別支援学校（研究協議会）はハイブリッドで計画中
（2）埼玉純真短期大学研究セミナーは引き続き後援予定

4 会報の発行について

令和3・4年は、ページ数は減少したが、会報を作成。

今後も作成するが、内容は精選していく

5 研究部活動について

(1) 難聴・言語障害教育研究部会。R5

(2) 発達障害・情緒障害教育研究部会。R5

(3) 特別支援学校研究部会。　　R5

6 令和5年度予算について

埼玉県連合教育研究会からの予算配分は、令和4年３月提出の事業計画をもとに計画されています。

また、日本教育公務員弘済会による「令和4年度連合教育研究会等への助成」は、申請を行い、事業中止の場合には、その都度、連絡をすることになっています。

埼玉県特別支援教育研究会

第６３回研究協議会　川口大会　構想案

埼特研のテーマに準じます。
これは狭山大会のものです。

１　研究主題　「幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた『個別最適化・協働的な学び』を求めて」

２　趣旨　標記の研究主題を掲げ、県内各小・中・高等学校及び幼稚園・保育所の先生方が教育実践を持ち寄り、研究協議・情報交換を通じて、特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒に対して、適切な指導・支援の在り方を模索するとともに、今後の県内の特別支援教育の一層の充実を図ろうとするものである。

３　参加者　小・中・高等学校職員、幼稚園・保育所職員、特別支援学校職員、教育委員会特別支援教育担当指導主事等、特別支援教育に関心のある方　等

４　会期　令和６年８月　日（　）zoom によるオンライン

オンライン受付	１２：００
開会行事	１２：４５
シンポジウム	１３：００～１４：００
分科会①	１４：１５～１５：１５
分科会②	１５：３０～１６：３０

※　全８分科会を、４分科会に分けて
　　ブレイクアウトルームで実施

●例年８月上旬です。
川口市は 8/10 から閉庁日。
●幸手大会では５分科会を
９０分で実施していました。
●川口大会は８分科会を予定。
ブレイクアウトルームなので
４分科会×２にしています。
●６０分は仮です。分科会の長さによって、時間は前倒しになります。

５　主催　埼玉県特別支援教育研究会

６　後援　埼玉県教育委員会　さいたま市教育委員会　川口市教育委員会

７　備考
（１）川口市教育研究会特別支援教育研究部が中心となって運営する。
（２）オンライン配信校は、令和６年度当初に決定する。
　　指導者等が来校しやすく、駐車場を確保できる学校を予定。
（３）オンライン配信について、埼特研から市教研への zoom の使用方法等を事前説明していただけるような依頼を予定。

埼玉県特別支援教育研究会　研究協議会
R6以降分科会とローテーション案

☆１８分科会は負担が大きいため、今後９分科会を基本とし、全国大会の開催の場合も切定し、２年間でこれまでの内容を扱えるようにしてはどうか？
＊日生/作業、/のある分科会…1年交代でテーマを変える　＊県・市教委の指導者は、県教委、教育センター、さいたま市で分
＊特学校部会は生活単元は毎年、他は2年に1回提案　＊通級は、5地区から2名のローテ表を作る（西と東、東と北…というよう
＊特学地区は、開催地区は１つの分科会のみ対応　＊特設テーマはニーズや時代の要請で決定

	分科会	指導者　２名	提案者及び司会者　担当	R5　西部（狭山）	R6　南部（川口）	R7　さいたま市	R8　北部	R9東部	R10　西部	R11　南部
1	各教科等を合わせた指導 生活単元学習	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	特別支援学校部会と特学地区 提案および司会各１名ずつ	特学校生単部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校生単部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会
2	各教科等を合わせた指導 （日常生活の指導／作業学習） →テーマ１年交代	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	特別支援学校部会と特学地区	特学校日作業部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校日生部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校作業部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校日生部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校作業部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校日生部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校作業部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会
3	教科別の指導 体育／自立活動 →テーマ１年交代	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	特別支援学校部会と特学地区	特学校自活部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校体育部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校自活部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校体育部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校自活部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校体育部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校自活部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会
4	教科別の指導 図工・美術／音楽 →テーマ１年交代	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	特別支援学校部会と特学地区	特学音楽部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校図・美部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校音楽部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校図・美部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校音楽部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校図・美部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校音楽部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会
5	教科別の指導 国語／算数・数学 →テーマ１年交代	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	特別支援学校部会と特学地区	特学校算数部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校国語部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学校算数部会　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学校国語部会　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学校算数部会　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学校国語部会　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学校国算数部会　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会
6	通級による指導① （難聴・言語障害）	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	通級から2名		総合部事務局提案					
7	通級による指導② （発達・情緒）	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	通級から2名		情緒部事務局提案					
8	特別支援教育の授業づくり	①大学教授 ②埼大附属副校長	特学地区2名	特学北部地区　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学東部地区　提案 司会 特学西部地区　提案 司会	特学南部地区　提案 司会 特学北部地区　提案 司会	特学さいたま地区　提案 司会 特学東部地区　提案 司会	特学西部地区　提案 司会 特学南部地区　提案 司会	特学北部地区　提案 司会 特学さいたま地区　提案 司会	特学東部地区　提案 司会 特学西部地区　提案 司会
9	特設テーマ （例：キャリア教育、コーディネーター、通常における、ICT、自閉症）	①大学教授 ②県・市教委 （特教課・センター・さいたま市）	役員会や開催地区で話し合い選出 提案者が選べない時は無し	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 ☆狭山市より提案あり	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会	提案および司会者を埼特研役員会や開催地区で選出 提案 司会

令和5年12月1日

埼玉県特別支援教育研究会 理事の業務について

埼玉県特別支援教育研究会 事務局

日頃より、埼玉県特別支援教育研究会の活動へのご理解ご協力いただきありがとうございます。今年度本会理事としてご協力を賜りまして心より感謝申し上げます。つきましては、理事の業務について概要をお知らせ致します。どうぞよろしくお願いいたします。

1 埼特研理事について

・各地区及び各特別支援学校管内の代表として、理事研究協議会に参加し、本会の連絡や会務資料等を円滑に伝達できるようにする。

・本会の各種活動に積極的に参加する。

2 主な業務

①6月の埼特研総会および第1回理事研究協議会への参加

②7月の第2回理事研究協議会への参加

②8月の埼玉県特別支援教育研究協議会への参加

③11月の第3回理事研究協議会への参加

④1月の研究発表大会や各種研修会への参加

⑤上記の各地区及び特別支援学校管内への情報の共有

⑥3月に、事務局への来年度理事の報告と引継ぎ

3 確認事項

・令和5年度より、本会連絡はすべてメール配信にさせていただいております。
確実に理事へつながるメールアドレスを事務局へお知らせください。

・メールで文書の配布依頼を行いますので、各地区、管内への周知をお願いします。

重要

埼特研理事の報告をお願いします!!

来年度（2024/令和6年度）の埼特研理事名簿を次の方法で集約します

※下記の理事報告の内容に沿って、必要事項を Google フォームにご記入をお願いいたします。

2024/令和6年度　各地区埼特研理事担当者報告

地区班名	
報告者：現理事氏名（職名）	
次年度理事氏名（職名）	
・学校名	
・郵便番号	
・学校住所	
・学校電話番号	
・学校FAX番号	
・連絡がとれるメールアドレス	

来年度に、異動・退職予定の方は、新理事候補者にこの通知を共有して頂き、ご記入をお願いいたします。

期日までに通知が無い場合は、令和5年度の理事の方に確認の連絡をさせていただきます。

Googleフォームアドレス

右記のQRコードよりアクセスをお願いいたします。

問い合わせ先：omiyaminami-e@saitama-city.ed.jp

FAXの場合は 048-645-0964

(さいたま市立大宮南小学校 担当 福田桂子)

報告締切 令和6年3月30日厳守

今年度中に送付ください

令和6年4月以降になる場合には、

必ずお知らせください。